



いしかわ労福協

第 634 号 2020年11月25日

発行所 石川県労働者福祉協議会
 発行責任者 西田 満明
 編集人 上野 貞彦
 〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号
 電話 (076) 231-1737
 FAX (076) 231-1731
<http://www.ishikawa-rofukukyo.jp>
info@ishikawa-rofukukyo.jp
 毎月1回 25日発行

金沢市長に要請書を手交する



11月16日(月)石川労福協の西田満明理事長ほか三役が山野之義金沢市長を訪ね、西田理事長が「2021年度における自治体の政策等に関する要請」を記した要請書を山野市長に手渡した。

金沢市庁舎の市長応接室で行われ、要請書の手渡し後、西田理事長が「新型コロナウイルス感染症の拡大により、多くの働く仲間の生活は一変した。小学校休校により働くことができなくなった家庭や一斉休業により収入減となり、食べることに困る人が増加した。この中で、数年前に活動を開始したフードバンク事業はフード

パントリーなどを通じた食料の提供により支援に繋げることができた。しかし、長引くステイホームにより精神的な不安を抱く方が多くなっている現状から、心も体も健康を保つことが必要である。」と挨拶した。

要請書には、7項目25課題が列記されており、渡邊雅人専務理事が概略を説明し、来年度における金沢市の施策に取り入れていただきたいと添えた。

これに対し、山野市長は、「コロナ禍における市民生活と経済活動を支える施策について、より効果的な支援策が図れるよう取り組みを進めていく。経済活動の低下は雇用環境の悪化を招くことから、十分な安全を確保しつつ経済活動が推進できるよう知恵を絞っていきたい。」とコメントされ、金沢市への要請を終えた。



第4回理事会



石川労福協は、11月6日(金)石川県地場産業振興センターにおいて、第4回理事会を開催した。

西田満明理事長が「新型コロナウイルスの感

染者は、隣県よりやや多いが、ウィズコロナの状況下、引き続き気を引き締めて対応していくことが必要である。しかし、自粛だけでは経済が回らないことから、感染対策を行いつつ、活動に取り組んでいくこととし、年明けの新春の集いは、密を避けるため参加人数規模を縮小し開催する予定である。また、この間、石川県と金沢市を除く県内各自治体に対し政策等の要請行動を行ってきたが、コロナ禍による疲弊した経済の立て直しと感染対策などについて、それぞれに工夫されているようであり、昨年より多く

の首長に対応していただいた。」と挨拶し、審議を進めた。

11月1日付で専務理事に就任した渡邊雅人氏が、前回理事会以降の取組みについて報告した。

渡邊専務理事は、「なかでも、コロナ禍において開催できずにいた『退職前セミナー』については、毎年多くの方の受講を頂いていることもあり、その対応策として、現在、Web配信を活用して受講できるよう準備を進めており、11月末までに開設・受講を開始すべく進めていることや、全国福祉強化キャンペーンの一環としてコロナ禍において生活に困難を期している方

への支援として相談会の実施を予定していること」を報告した。

審議事項では、はじめに選出団体の異動による役員の交代が承認されたほか、中間決算報告・監事監査報告を承認した。

また、今後予定する各種行事の実施などについても全て提案のとおり承認され、理事会を終えた。今回新たに就任した役員

福田佳央(連合石川)氏(理事)

秋葉宏(UA ゼンセン)氏(理事)

退任した役員

中川博氏(前専務理事)、高井哲郎氏(前理事)

大衆運動活動家顕彰会合祀追悼会



連合石川、石川労福協などで構成する大衆運動活動家顕彰会は、11月23日(祝・月)に卯辰山の顕彰碑前において、大衆運動に取り組み志半ばでお亡くなりになった方の合祀追悼会を催した。

ぐずつき気味の天候ではあったが、例年のこの時期に比べて比較的暖かな中、追悼会は滞りなく施行された。

西田満明会長(連合石川会長・石川労福協理事長)が「コロナ禍において多くの働く仲間が収入減や解雇・雇止めを強いられている。また、大学生も生活の糧としていたアルバイトが無く

なり生活に窮する人も多く、フードバンク活動により支援の取組みを行っている。誰しものが予想だにできなかった状況下において、互いに支え合う共助の取組みを行っていくことも大きな大衆運動と捉え、今後も先人の方々に恥じることの無いよう活動していきたい。」と挨拶し、福田佳央事務局長(連合石川)が今回合祀する方の略歴を添えて紹介した後、その方の名を記したプレートを碑に納めた。

これまで合祀された方への感謝のしるしとして参加者全員が献花をした。

例年、合祀の後、別会場で感謝の集いを行っているが、コロナウイルス感染症拡大を防止するため同会場で、故人とともに活動を行ってきた方が在りし日の思いを込めてスピーチして追悼した。

今回合祀された方

故 福田 孝二 享年 85

元石川県教職員組合執行委員長、元連合石川副会長

これからの行事予定

開催日	曜日	行 事	会 場	(11月25日現在)
11月27日	金	福祉なんでも相談窓口 アドバイザー会議	フレンドパーク石川	
〃	〃	第52回食みどり、水を守る全国活動者会議	教育会館 (Web会議)	
12月2日	水	第70回石川県勤労者美術展(～6日)	金沢21世紀美術館	
3日	木	第91回石川県統一メーデー 第3回実行委員会	金沢市内	
4日	金	食みどり水NW 第5回幹事会	連合石川	
6日	日	第70回石川県勤労者美術展・表彰式	金沢21世紀美術館	
10日	木	第5回三役会議	フレンドパーク石川	
〃	〃	中部会館協 北陸エリア会議	砺波市	
11日	金	第2回自主福祉運動活性化会議	労福協	
14日	月	第50回石川県消費者大会	地場産業振興センター	
15日	火	第5回理事会	IT ビジネスプラザ武蔵	
19日	土	年末緊急!! なんでも生活応援相談会	フレンドパーク石川	
23日	水	連合石川総研 定期総会	〃	
〃	〃	第15回食みどり水NW定期総会	〃	
1月5日	木	連合石川・石川労福協合同「2021新春の集い」	ANA クラウンプラザホテル金沢	

奨学金に関する全国一斉相談会を開催

石川労福協は、11月6日(金)に中央労福協の取組みに歩調を合わせて、奨学金に関する相談会を労福協事務所で開催した。

当日は、日頃から奨学金問題で協力を頂いている喜成清重司法書士を招き、相談体制を整えフリーダイヤルでの相談電話に備えた。

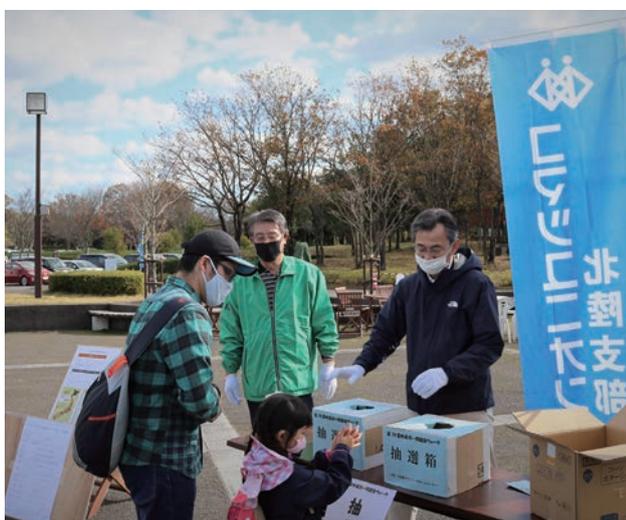
この相談会の開催は、中央労福協が3年前か

ら全国一斉に開催しており、今回も全国の地方労福協に呼びかけ多くの労福協がこれに応じたもので、SNSでの告知はもとより、NHKの取材も受けて、昨年よりも多くの方に周知することとなった。

当日の相談は、全国で55件(速報値)にのぼり、県内でも1件の相談を受け、助言することができた。

小松・能美地域 LSC 活動報告

I. 「第19回木場潟一周健康ウォーク」の実施 【2020年11月22日(日)】



木場潟一周健康ウォークは、「木場潟の自然との触れ合い」「健康増進」をテーマとし19年目を迎えました。本年は、コロナ禍で、実施を控えておりましたが、万全のコロナ対策を期するため開催内容を変更した上で昨年同様に秋の開催とし、11月22日(日)実施しました。

受付で、マスク確認・アルコール消毒・体温測定を行い3密となる集合での開会式・準備体操を省略し、スルー方式の9:00受付でスタートしました。248名の参加者は、各自飲み物を片手に、晴天の中、1~2時間程かけて、6.4kmの「木場潟一周健康ウォーク」を終え、気持ちのいい汗を



流したひと時となったのではないのでしょうか。

ウォーキングを終えた皆さんは、名物の「豚汁とおにぎり」の中止を残念がっていましたが、恒例となった「お楽しみ抽選会」では、到着順に、3密を避けた福引方式で100点余りの景品と山積みになった参加賞を手土産に、盛況のうちに終える事が出来ました。

今年も、家族連れも多く、健康増進とともに家族の親睦が図れたイベントとなりました。

II. 第11回チャリティーゴルフ大会

コロナ禍ではありますが、屋外のスポーツの実施でありますので、3密は避け、受付・募金後スルー方式で開催しました。順位集計後、景品・参加賞を受け取り、順次帰宅の途に就きました。多くの募金ありがとうございました。

日 時：11月20日(金)

場 所：ツインフィールズ

参加者：21名

成 績

優 勝 西 憲二(小松マターレOB会)

準優勝 吉田 貴徳(JAM東振労組)

第3位 河原 良教(JP南加賀支部)



III. チャリティーゴルフ寄付金贈呈

日 時：12月21日(月) (予定)

場 所：能美市役所

寄付額：20,000円

金沢地域 LSC 活動報告

ハイアットセントリック金沢に泊まる 「金澤さんぽ」



2020年11月11日～12日地元支援の「秋の旅」マイクロツーリズムを企画した。

旅行当日は天候に恵まれ、日程を滞りなく進めることができた。

今回は、コロナ禍で感染リスクを避けるため、参加者の皆さんが自由に観光をできるようにと、金沢市内バス1日フリー乗車券、加賀百万石回遊ルート12施設に入場できるSAMURAIパスポートを利用して自由行動という選択肢を設けた。ハイアットセントリック金沢にて受付と荷物を預け、「金澤さんぽ」へ出発した。

近くにあるのにまだ見たことのない歴史と文化、自然を兼ね備えた金沢城公園周辺や10月

25日にオープンした国立工芸館などの文化施設を巡り金沢のすばらしさの再発見ができた。

また、8月1日にオープンした、石川・金沢の伝統文化を今に伝えるアート作品がいたるところに点在する「ハイアットセントリック金沢」に宿泊し、五感にごちそう旬の加賀野菜のグリルやステーキのディナーを味わい、最上階のBarでは眼下に広がる金沢の街の風情を感じながら、いつもと違う金沢の表情も見せてくれた。

最終日、帰路に着く前にうなぎ四代目菊川の本うなぎ蒲焼きプレゼントは参加者全員が取りに來られて大変喜ばれた。

今回の開催について、参加者の方から「この企画最高やった、また頼む」という声も聞くことができ、無事に新しい発見に満ちた「金澤さんぽ」を遂行できたことに感謝申し上げます。



金沢地域ライフ・サポートセンター

事務局長 宮坂信詞

珠洲・能登地域 LSC 活動報告

チャリティー・グラウンドゴルフ大会開催



毎年開催される「福祉GG中央大会」がコロナ禍騒動で中止決定の連絡を受け、当地域では元気なお年寄りも多く、GG愛好者の楽しみを奪うことなく、また強い要望もあり代替大会を企画しました。9月22日(火)秋分の日、「チャリティーGG男女ペア大会」を開催、40組、80人の参加者が集いました。

当地ではこのような形のGGは初めてで、和気あいあいと楽しくプレーし、大変好評でした。当日参加者から募ったチャリティー基金16,000円は、珠洲市GG協会へ、「タオル」160枚は、障害福祉サービス事業所 特定非営利活動法人「ワークショップ すず」へ寄付させていただきました。現在ウエス(工場で使う油拭き様の雑巾)の材料が大変不足しており、とても喜ばれました。福祉施設では障害を持つ方の自立を助ける為に、ウエスの製造の他、いろいろな作業訓練が行われています。少しでもお役に立てたことに喜びを感じ、今後も活動を続けていこうと思えました。

尚、毎年実施しております老人福祉施設への「タオル配布」活動は、コロナ禍の影響で、会員の方々からの収集や施設への出入りは、安全を期するため中止としました。

珠洲・能登地域ライフ・サポートセンター

事務局長 加藤政道

海外支援米を発送する



連合石川、石川労福協などで構成する食とみどり、水を守るいしかわネットワークは、11月12日(木)フレンドパーク石川前において、海外支援米の発送式を行った。

西田満明代表(連合石川会長・労福協理事長)が「例年、地域の家族などが参加して、田植えから稲刈りまで取り組んでいるが、今年は新型コロナウイルス感染症の予防のため、いずれの取組みも中止したものの、農地提供者等との連携でコメの収穫ができた1,050kgに加え、金沢市内有志から寄贈された60kgを合わせた1,110kgのうち、840kgをアフリカ・マリ共和国に贈ることとした。また、残る270kgは、いしかわフードバンク・ネットを通じて、県内の子ども食堂など食料を必要とする人に寄贈することとなっ



た。来年は、何とか田植え、稲刈りを実施し、収穫の喜びを分かちあいたい。」と挨拶した。

このほかに同じ有志からもち米50kgが、さわやかUの取組みに活用することを目的に合わせて寄贈されたあと、手配されたトラックに支援米を積み込み集積地の横浜港に向けて送られた。



火災避難訓練

11月18日(水)、フレンドパーク石川は、午後1時30分会館2階喫煙室での出火を想定し、館内全ての入居団体の協力のもとで火災避難訓練を実施した。

非常ベルの発報、現地の確認後、「2階喫煙室から出火、館内の方は、速やかに非常階段より避難されたし。」と館内放送され、入居者が安全を確保しつつ速やかに非常階段より建物外に避難した。退避後、各階の避難誘導係が、全員退避した旨を渡邊雅人自衛消防隊長(石川労福協専務理事)に報告した。渡邊隊長は、「すべての階の退避完了報告が揃うまでに館内放送後約

5分を要したが、順当な行動であった。日頃から防火を意識しつつ、万一に備えた訓練で命を守っていただきたい。」と訓練を終えて講評し、本年度の火災避難訓練とした。



勤 体 協

《第51回 県勤労者ボウリング選手権》

11月23日・金沢市 レジャーランボウル

◇1部【団体】

- ① ハンター&ホープ（高根睦広、小原和美）
- ② 金沢Jクラブ（畠健治、三浦啓子）
- ③ ホンター（出口洋征、中村邦子）

◇2部【団体】

- ① うさぎクラブ（八田守幸、鈴木里志）
- ② RE：VOLT（長友宏、渉）
- ③ キャッツ（住井茂、美津子）

◇3部【個人】

◇3ゲームトータル順位

- ① 出口洋征 ② 高根睦広 ③ 住井茂

◇ハイゲーム 高根睦広

第51回 石川県勤労者 早春 絵画・書・生花展のご案内



作品
募集中!

開催日 2021年2月4日(木)～2月7日(日)

午前10時～午後6時 (最終日は正午まで)

会場 しいのき迎賓館 ギャラリーA及びB

※特別展 2021年2月11日(木・祝)～2月15日(月)

野々市市情報交流館カメラア

(野々市市役所3Fギャラリー)

作品受付 2021年1月22日(金) 午前10時～午後4時

23日(土) 午前10時～正午

フレンドパーク石川3階にて

参加資格 石川県に居住もしくは勤務する勤労者および退職者とその家族
(学生不可)

主催 石川県勤労者文化協会

後援 石川県労働者福祉協議会・北國新聞社・北陸放送・野々市市